

(6) 住宅・生活環境

ア 住宅の問題点 (Q22)

「現在、住んでいる住宅の問題点」についてみると、「何も問題を感じていない」の割合はスウェーデン(77.5%)で最も高く、次いで、ドイツが69.5%となっており、日本(59.7%)とアメリカ(60.8%)は6割程度である。

具体的な問題点をみると、日本では「住まいが古くなりいたんでいる」(17.3%)が最も高くなっているのに対して、アメリカでは「家賃、税金、住宅維持費など住宅に関する経済的負担が重い」(14.0%)、ドイツでは「住宅の構造や造りが高齢者には使いにくい」(15.3%)がそれぞれ最も高くなっている。スウェーデンでは、いずれの問題点も1割未満となっている。

時系列でみると、日本とスウェーデンでは「何も問題を感じていない」の割合が増加傾向にある。(表30)

(表30) 住宅の問題点

○付数字は順位(複数回答)(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 住宅が狭い			13.9	9.6	10.0	7.6	6.8	4.5			14.1	17.3	14.4	8.4	②10.4	③8.8
2 部屋数が少ない			11.4	10.1	9.6	5.3	6.3	3.3			5.9	4.8	6.3	5.2	6.6	5.5
3 住宅が広すぎて管理がたいへん			8.1	9.3	7.2	6.7	4.6	5.7			7.1	6.4	6.4	9.9	6.6	②9.5
4 台所、便所、浴室などの設備が高齢者には使いにくい			8.0	8.0	14.9	10.5	③9.9	③7.3			3.5	3.2	4.4	4.6	6.5	5.7
5 住宅の構造(段差や階段等)や造りが高齢者には使いにくい			7.4	13.5	17.6	13.1	②12.3	②7.6			2.1	1.9	7.7	8.8	③8.5	7.2
6 住まいが古くなりいたんでいる			20.7	19.3	20.2	16.7	①18.5	①17.3			3.2	5.2	3.0	4.5	6.6	8.2
7 家賃、税金、住宅維持費など住宅に関する経済的負担が重い			12.0	11.5	9.7	3.3	4.5	4.4			3.3	3.3	6.7	11.7	①16.2	①14.0
8 転居を迫られる心配がある			1.8	1.7	1.1	0.5	0.2	0.4			1.8	2.0	2.4	1.3	3.5	2.9
9 日当たりや風通しが悪い					9.2	5.6	5.8	3.6					2.2	1.6	1.6	4.8
10 防犯設備が整っていない						4.5	3.9	2.7						3.3	2.9	5.3
11 地震、火事などに対する防災設備が不十分である						11.0	9.0	6.4						1.7	2.4	5.7
12 その他					4.0	2.7	1.2	3.2					1.4	1.3	2.3	2.5
13 何も問題を感じていない			45.7	46.7	45.0	55.0	55.5	59.7			65.0	61.9	63.5	64.7	58.3	60.8
無回答			1.6	0.7	-	-	-	1.0			2.2	5.2	1.0	0.2	1.9	1.5

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 住宅が狭い	2.1	1.8	3.3	3.5	2.1	2.7	2.6	1.8	3.2
2 部屋数が少ない	2.4	1.7	2.7	2.0	1.7	1.8	1.8	2.2	3.1
3 住宅が広すぎて管理がたいへん	5.8	7.0	3.0	5.9	③7.3	5.8	4.7	3.6	③3.8
4 台所、便所、浴室などの設備が高齢者には使いにくい	3.4	1.4	3.7	8.1	②8.8	②8.4	3.1	2.9	1.8
5 住宅の構造(段差や階段等)や造りが高齢者には使いにくい	12.1	0.6	8.9	12.5	①15.9	①15.3	8.0	①5.2	②5.7
6 住まいが古くなりいたんでいる	5.7	8.4	7.6	2.0	2.4	2.3	5.5	③4.1	③3.8
7 家賃、税金、住宅維持費など住宅に関する経済的負担が重い	6.6	15.1	7.0	7.1	5.1	6.8	11.6	①5.2	①6.1
8 転居を迫られる心配がある	3.2	4.4	2.7	6.9	6.8	③7.7	7.1	2.6	2.9
9 日当たりや風通しが悪い			0.6	1.0	1.0	0.3	0.8	0.9	1.2
10 防犯設備が整っていない				3.1	1.4	2.4		0.4	0.5
11 地震、火事などに対する防災設備が不十分である				2.3	1.0	0.8		0.7	0.5
12 その他			1.8	2.8	0.8	1.2	1.4	5.3	2.8
13 何も問題を感じていない	71.5	65.8	72.5	67.6	67.9	69.5	69.0	76.3	77.5
無回答	1.1	5.3	0.3	0.2	0.3	-	0.2	-	-

注) 4 の項目は、第4回は「台所、便所、浴室などの住宅設備が使いにくい」。

5 の項目は、第4回は「住宅の構造や設備が高齢者には使いにくい」。

9、12の項目は、第4回まではなかった。

10、11の項目は、第5回まではなかった。

イ 身体機能が低下した場合の住宅の住みやすさ (Q23)

「身体機能が低下して、車いすや介助者が必要になった場合を想定したときの、現在住んでいる住宅の住みやすさ」についてみると、「住みやすい」と「まあ住みやすい」を合わせた割合は、アメリカ (58.5%) が6割程度で最も高く、ドイツ (45.7%) とスウェーデン (53.9%) は5割前後、調査実施国中で最も低い日本 (37.8%) は4割程度となっている。(表 31)

(表 31) 身体機能が低下した場合の住宅の住みやすさ

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回
1 住みやすい			7.3	7.9	8.3	12.2	16.1	16.3			32.6	29.6	36.9	37.9	37.4	35.0
2 まあ住みやすい			22.7	20.5	15.5	21.3	20.3	21.5			46.6	47.6	24.9	26.5	26.4	23.5
3 多少問題がある			50.9	52.7	54.2	47.3	47.2	45.7			10.6	10.3	22.2	23.3	21.1	21.3
4 非常に問題がある			18.7	18.3	21.7	18.9	16.0	16.5			8.2	11.2	13.9	12.3	15.1	19.7
無回答			0.4	0.5	0.3	0.4	0.4	-			2.0	1.3	2.2	-	-	0.4

  

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 5 回	第 7 回	第 8 回
1 住みやすい	18.0	18.8	31.4	26.6	25.2	21.6	19.8	25.0	24.5
2 まあ住みやすい	26.2	25.3	28.4	19.4	22.4	24.1	30.7	26.5	29.4
3 多少問題がある	31.0	30.9	29.3	34.1	34.4	31.7	28.6	26.5	26.3
4 非常に問題がある	24.1	24.0	10.9	19.7	17.4	21.8	21.0	22.1	19.8
無回答	0.6	1.0	-	0.2	0.6	0.7	-	-	-

ウ 身体機能が低下した場合の住宅（Q24）

「身体機能が低下して、車いすや介助者が必要になった場合、自宅に留まりたいか、どこかへ引っ越したいか」についてみると、各国とも「現在のまま、自宅に留まりたい」と「改築の上、自宅に留まりたい」をあわせた、自宅に留まることを希望する人の割合は各国とも6割を超えている（日本 65.2%、アメリカ 74.9%、ドイツ 73.4%、スウェーデン 68.4%）。次いで、日本では「老人ホームに入居したい」（14.8%）となっており、アメリカ、ドイツ及びスウェーデンでは「高齢者用住宅へ引っ越したい」（アメリカ 10.5%、ドイツ 16.8%、スウェーデン 22.1%）の割合が高くなっている。（表 32）

（表 3 2）身体機能が低下した場合の住宅 (%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回
1 現在のまま、自宅に留まりたい			59.1	62.4	59.9	50.5	46.2	49.3			70.9	66.6	71.4	38.4	42.6	43.6
2 改築の上、自宅に留まりたい						16.5	20.2	15.8						38.9	35.1	31.3
3 子供の住宅へ引っ越したい			3.8	2.5	2.5	3.6	2.2	1.0			5.5	6.8	7.9	5.5	4.9	7.4
4 高齢者用住宅へ引っ越したい			7.6	5.6	8.0	5.9	7.8	9.7			7.5	7.5	9.2	12.8	12.2	10.5
5 老人ホームへ入居したい			7.8	8.6	11.8	12.5	13.9	14.8			9.5	10.1	3.2	1.4	1.5	1.7
6 病院に入院したい			19.4	17.6	14.2	7.2	5.7	3.3			0.5	0.2	0.2	0.2	0.4	0.1
7 その他			1.8	2.6	2.9	2.9	2.1	5.7			2.3	3.1	4.3	2.7	3.0	5.5
無回答			0.6	0.7	0.5	1.0	1.9	0.5			3.9	5.6	3.9	0.1	0.3	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 5 回	第 7 回	第 8 回
1 現在のまま、自宅に留まりたい	74.7	72.9	65.4	40.0	44.8	43.0	59.1	18.5	19.2
2 改築の上、自宅に留まりたい				30.5	31.7	30.5		47.5	49.2
3 子供の住宅へ引っ越したい	6.1	6.7	4.9	4.7	4.9	4.2	0.7	0.2	0.3
4 高齢者用住宅へ引っ越したい	7.1	7.7	14.0	17.7	13.5	16.8	28.5	22.1	22.1
5 老人ホームへ入居したい	8.5	8.2	12.6	4.7	1.4	1.7	5.8	2.2	1.1
6 病院に入院したい	1.0	0.4	0.1	0.1	-	-	0.1	0.1	-
7 その他	2.0	2.9	3.1	2.2	2.6	3.3	5.8	9.4	8.1
無回答	0.5	1.2	-	0.2	1.1	0.7	-	-	-

注) 2の項目は、第5回まではなかった。

エ 地域の問題点 (Q25)

「現在、住んでいる地域の問題点」についてみると、「何も問題を感じていない」は、スウェーデンで70.7%と最も高く、日本、アメリカ及びドイツ(日本59.3%、アメリカ58.4%、ドイツ58.8%)は6割程度である。

具体的な問題点をみると、日本では「日常の買い物に不便」(15.7%)、「公共交通機関が整備されていない」(14.9%)の割合が高くなっている。アメリカでは「盗難や放火などの犯罪が心配」(15.9%)、「近隣道路が整備されていない」(12.2%)及び「公共交通機関が整備されていない」(12.0%)の割合が高い。

ドイツでは「日常の買い物に不便」(21.4%)、「医院や病院への通院に不便」(13.3%)及び「公共交通機関が整備されていない」(13.1%)の割合が高い。スウェーデンでは、「日常の買い物に不便」(10.8%)を除いて、いずれの問題点も1割未満である。(表33)

(表33) 地域の問題点

○付数字は順位(複数回答)(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 日常の買い物に不便である			16.9	20.6	17.6	13.5	①14.9	①15.7			15.9	18.5	11.4	7.7	7.6	8.9
2 医院や病院への通院に不便である			21.2	22.9	16.3	10.7	③9.6	③10.3			12.0	10.8	7.0	5.9	5.9	5.0
3 図書館や集会施設などの公共施設が不足している			11.1	9.7	6.6	3.7	4.2	3.0			13.6	14.1	4.5	2.9	3.6	4.1
4 バス、電車などの公共交通機関が整備されていない					11.5	8.4	②10.8	②14.9					15.9	11.6	①13.1	③12.0
5 集会施設、役所、商店など公共的建物が高齢者には使いにくい			6.5	6.3	3.8	3.7	3.3	3.9			9.8	10.6	5.5	3.0	3.2	4.2
6 交通機関が高齢者には利用しにくい			16.2	17.7	11.5	7.5	8.6	10.2			31.0	37.2	10.9	7.9	③9.9	8.8
7 近隣道路が整備されていない			8.4	6.4	6.6	5.9	3.8	4.0			14.0	15.6	11.0	8.0	9.7	②12.2
8 散歩に適した公園や道路がない			20.1	16.7	12.3	7.2	6.7	5.2			14.2	15.4	9.3	6.1	8.2	6.4
9 騒音や大気汚染など環境が悪い			18.6	13.5	11.2	7.6	6.8	4.1			7.7	13.3	8.6	4.8	6.3	6.7
10 盗難や放火などの犯罪が心配			7.1	6.3	8.3	9.5	4.9	3.6			28.0	31.7	16.0	10.4	②12.4	①15.9
11 水害、地震など自然災害に弱い			10.5	20.2	7.3	6.5	5.3	6.5			4.5	10.6	7.5	3.3	3.7	5.0
12 その他					3.6	3.4	3.1	2.4					3.9	1.3	2.7	2.7
13 何も問題を感じていない			33.7	33.0	44.8	53.6	55.5	59.3			21.8	17.8	54.0	67.5	59.9	58.4
無回答			1.5	0.6	0.1	0.1	-	-			15.6	8.1	0.3	-	3.0	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 日常の買い物に不便である	17.8	21.5	14.6	18.9	①19.7	①21.4	6.2	①9.5	①10.8
2 医院や病院への通院に不便である	20.9	24.6	10.1	8.6	③10.6	②13.3	4.6	2.7	5.7
3 図書館や集会施設などの公共施設が不足している	9.0	12.7	7.9	7.4	6.6	7.4	3.7	3.4	3.9
4 バス、電車などの公共交通機関が整備されていない			8.7	8.0	②11.4	③13.1	7.2	②6.5	②7.5
5 集会施設、役所、商店など公共的建物が高齢者には使いにくい	6.7	9.1	5.4	7.5	7.8	9.7	1.6	2.3	3.4
6 交通機関が高齢者には利用しにくい	18.4	22.8	8.7	7.7	10.2	11.9	5.5	4.8	5.1
7 近隣道路が整備されていない	3.8	8.2	6.6	6.6	7.2	6.8	3.9	4.7	6.1
8 散歩に適した公園や道路がない	5.9	10.4	5.5	4.4	5.1	3.8	1.7	1.4	0.8
9 騒音や大気汚染など環境が悪い	6.3	7.9	4.5	7.5	8.4	4.2	2.9	③6.2	5.3
10 盗難や放火などの犯罪が心配	8.7	19.5	10.7	5.4	6.2	6.5	6.7	③6.2	③7.3
11 水害、地震など自然災害に弱い	1.6	1.9	0.4	1.3	1.0	1.0	0.2	0.2	0.3
12 その他			1.9	2.2	1.0	1.2	0.6	3.7	2.4
13 何も問題を感じていない	50.7	37.1	62.1	61.2	58.0	58.8	75.8	71.1	70.7
無回答	0.4	1.0	0.3	0.2	-	0.1	-	-	-

注) 4と12の項目は、第3回・第4回はなかった。

6の項目は、第4回は「交通機関が高齢者には使いにくい、又は整備されていない」。

10の項目は、第4回は「ぬすみや放火などの犯罪が心配」

オ 外出するときの利用手段 (Q26)

「ふだん、外出する時に何を利用するか」についてみると、主な利用手段としては、日本では「自分で運転する自動車」(51.9%)の割合が最も高く、次いで「徒歩」(39.4%)、「自転車」(26.2%)と続く。

アメリカとドイツでは「自分で運転する自動車」(アメリカ 81.5%、ドイツ 61.8%)が最も高く、次いで「徒歩」(アメリカ 32.4%、ドイツ 49.4%)となっている。一方、スウェーデンでは「徒歩」が 80.1%で最も高く、次いで「自分で運転する自動車」(64.7%)が続く。

前回と比べると、各国ともに「家族などの運転する自動車」の割合がやや減少している。また、日本、アメリカ及びドイツでは「自分で運転する自動車」の割合がやや増加しており、スウェーデンでは「徒歩」が約 17 ポイント増加している。(表 34)

(表 34) 外出するときの利用手段

○付数字は順位(複数回答)(%)

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1 徒歩					48.5	46.4	②46.4	②39.4						22.5	29.4	②35.6	②32.4
2 自転車					31.6	28.1	③30.7	③26.2						3.0	3.8	5.1	5.1
3 バイク・スクーター					5.9	6.4	4.7	4.2						0.2	1.3	3.7	1.2
4 自分で運転する自動車					37.0	40.3	①46.7	①51.9						73.0	74.8	①77.6	①81.5
5 家族などの運転する自動車					30.7	22.7	24.3	18.1						24.4	27.5	③31.7	③23.4
6 バス・路面電車					27.7	19.1	22.1	20.7						11.6	9.3	11.2	11.1
7 電車・地下鉄					21.0	15.1	19.3	15.6						4.6	3.6	4.3	5.0
8 タクシー					15.3	8.4	11.7	8.8						3.4	4.5	3.2	3.2
9 自分で操作する車いす					0.1	0.4	0.3	0.5						0.6	1.1	2.0	0.9
10 介助者が必要な車いす					0.4	0.8	0.5	0.6						0.7	1.0	2.5	0.3
11 その他					0.8	2.0	0.7	1.1						1.1	0.5	1.6	1.2
無回答					0.1	0.1	-	-						0.3	-	-	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 徒歩			69.2	55.4	②54.0	②49.4	80.0	②62.8	①80.1
2 自転車			28.9	28.3	28.7	25.3	32.6	③37.8	③42.7
3 バイク・スクーター			1.7	1.1	1.6	2.2	1.6	2.7	2.5
4 自分で運転する自動車			46.7	53.4	①56.9	①61.8	50.3	①70.9	②64.7
5 家族などの運転する自動車			23.2	30.6	32.3	③29.3	17.8	12.3	9.8
6 バス・路面電車			33.2	37.9	③32.4	28.7	26.9	34.1	36.3
7 電車・地下鉄			14.5	15.9	14.6	14.6	11.5	18.4	24.2
8 タクシー			10.8	11.9	15.9	10.9	12.9	9.4	8.0
9 自分で操作する車いす			0.2	0.3	0.6	0.7	1.2	0.5	0.5
10 介助者が必要な車いす			0.7	0.6	0.8	1.0	1.4	0.4	0.8
11 その他			1.2	1.5	0.7	1.0	2.8	1.1	3.1
無回答			0.3	-	0.1	0.1	-	-	-

カ 外出するときに気になる点 (Q27)

「外出するにあたって、不便に思ったり、気になったりすること」についてみると、「特に不便ではない」の割合はドイツ (63.0%) とアメリカ (60.4%) で6割を超えており、次いで、日本 (58.6%)、スウェーデン (54.4%) の順となっている。

具体的な問題点の上位をみると、日本とアメリカでは「道路に段差があったり、道路が狭い、滑りやすい」(日本 14.3%、アメリカ 16.0%)、「夜間の道路照明が暗い、街路灯が少ない」(日本 13.6%、アメリカ 16.0%) となっている。

ドイツでは「トイレが少ない、汚い」(16.6%)、スウェーデンでは「道路に段差があったり、道路が狭い、滑りやすい」(17.3%) の割合が高くなっている。(表 35)

(表 35) 外出するときに気になる点

○付数字は順位 (複数回答) (%)

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1 道路に段差があったり、道路が狭い、滑りやすい					21.6	15.6	②11.2	①14.3						11.3	9.1	10.5	①16.0
2 歩道がない、または歩道が狭い、歩きにくい					22.0	12.9	③9.3	③12.1						10.7	7.5	8.4	10.6
3 信号機がない、歩道橋を渡るなど、道路の横断がしにくい					5.4	3.7	1.9	3.3						4.0	2.3	3.9	5.0
4 道路や歩道が混雑している、人込みが激しい					3.3	2.1	2.0	2.6						6.6	4.2	4.8	4.2
5 放置自転車や看板などのために歩きにくい					8.9	5.2	2.8	1.7						1.7	1.2	1.4	1.1
6 標識や案内表示が少ない、わかりにくい					4.2	3.2	1.4	1.7						2.4	1.2	1.4	2.7
7 夜間の道路照明が暗い、街路灯が少ない					19.0	12.2	①11.5	②13.6						8.2	11.0	①13.0	①16.0
8 バスや電車の車両のステップが高く、利用しにくい					7.6	3.2	1.6	3.2						5.7	2.8	3.5	3.4
9 駅に階段が多く、エスカレーター、エレベーターが少ない					11.4	4.6	3.8	4.5						3.0	1.8	1.9	2.5
10 駅などの料金表示が見づらい、自動販売機などが使いにくい					8.1	1.9	1.5	1.5						0.6	0.5	1.4	1.3
11 駐車場、駐輪場が少ない					10.1	5.3	4.8	6.3						6.7	4.1	5.9	5.7
12 トイレが少ない、汚い、使いづらい					14.9	7.1	6.7	5.9						9.4	8.4	③11.4	11.5
13 ちょっと休むベンチや休憩所が少ない					19.8	9.0	7.7	8.6						8.8	9.0	②12.4	③13.3
14 その他					2.0	4.6	2.6	4.3						1.2	1.2	2.5	1.8
15 特に不便ではない					43.8	58.0	64.7	58.6						61.0	70.8	64.3	60.4
無回答					-	-	-	-						1.8	0.5	2.3	-

	ド イ ツ					スウェーデン			
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 道路に段差があったり、道路が狭い、滑りやすい			9.6	7.0	6.3	6.4	12.3	①19.6	①17.3
2 歩道がない、または歩道が狭い、歩きにくい			4.9	4.2	4.8	4.0	3.5	4.1	5.2
3 信号機がない、歩道橋を渡るなど、道路の横断がしにくい			5.5	5.6	5.3	3.5	1.7	1.7	2.1
4 道路や歩道が混雑している、人込みが激しい			2.5	3.2	3.0	2.3	4.5	3.5	6.1
5 放置自転車や看板などのために歩きにくい			1.4	2.6	2.0	2.7	2.0	4.9	6.9
6 標識や案内表示が少ない、わかりにくい			0.5	0.7	1.0	0.3	0.7	1.3	1.1
7 夜間の道路照明が暗い、街路灯が少ない			6.2	8.6	③12.9	③10.4	4.6	③12.3	7.3
8 バスや電車の車両のステップが高く、利用しにくい			6.8	8.3	8.5	7.1	5.3	3.6	5.1
9 駅に階段が多く、エスカレーター、エレベーターが少ない			3.2	5.1	8.7	8.3	1.8	2.6	2.2
10 駅などの料金表示が見づらい、自動販売機などが使いにくい			7.2	7.4	10.6	8.1	2.8	5.4	6.8
11 駐車場、駐輪場が少ない			8.3	7.0	10.6	8.3	3.3	8.7	③9.9
12 トイレが少ない、汚い、使いづらい			16.2	15.9	①18.0	①16.6	8.1	②15.3	②12.4
13 ちょっと休むベンチや休憩所が少ない			14.8	13.6	②14.3	②14.9	10.0	8.4	9.0
14 その他			1.5	2.1	1.1	1.1	1.0	5.5	3.6
15 特に不便ではない			60.0	65.7	59.5	63.0	68.1	51.7	54.4
無回答			0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	-	-

注) 12の項目は、第5回は「トイレが少ない、汚い」。

(7) 社会とのかかわり、生きがい

ア 人（同居の家族、ホームヘルパー等を含む）と直接会って話をする頻度（Q28）

「ふだんどの程度、人（同居の家族、ホームヘルパー等を含む。）と直接話をするか」についてみると、「ほとんど毎日」の割合は、スウェーデンで 88.1%と最も高く、次いで、日本（86.5%）、アメリカ（83.4%）、ドイツ（68.8%）の順となっている。（表 36）

(表 36) 人（同居の家族、ホームヘルパー等を含む）と直接会って話をする頻度 (%)

	日 本								ア メ リ カ								
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	
1 ほとんど毎日							88.4	86.5								84.2	83.4
2 週に 4、5 回							3.3	3.9								9.0	8.3
3 週に 2、3 回							4.4	4.4								4.2	4.3
4 週に 1 回							2.4	2.2								2.2	2.6
5 ほとんどない							1.2	3.0								0.4	1.2
無回答							0.3	-								-	0.2

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 5 回	第 7 回	第 8 回
1 ほとんど毎日					78.3	68.8		87.8	88.1
2 週に 4、5 回					10.3	11.4		5.1	4.0
3 週に 2、3 回					8.4	12.0		5.5	5.1
4 週に 1 回					2.5	4.7		1.6	1.8
5 ほとんどない					0.4	2.9		-	1.0
無回答					0.1	0.3		-	-

注) 第 7 回は、「ふだん人（同居の家族、ホームヘルパー等を含む）と話す」と回答した方に聞いた。

第 7 回は、[Q43a あなたは、ふだんどの程度、人（同居の家族、ホームヘルパー等を含む）と話をしますか。電話や電子メール、ファックス等も含めてお答え下さい。(○は 1 つだけ) で「1 ほとんど毎日」「2 週に 4、5 回」「3 週に 2、3 回」「4 週に 1 回」のいずれかに回答した方に聞いた]

イ 同居の家族以外に頼れる人 (Q29)

「病気の時や、一人では出来ない日常生活に必要な作業が必要な時、同居の家族以外に頼れる人がいるか」についてみると、各国とも「別居の家族・親族」(日本 66.2%、アメリカ 60.7%、ドイツ 69.0%、スウェーデン 59.2%) の割合が最も高くなっている。一方、「友人」の割合は、欧米3か国(アメリカ・ドイツ 45.0%、スウェーデン 43.4%) が日本(18.5%) に比べて高くなっている。

一方、「頼れる人がいない」の割合は、日本(16.1%) が調査実施国中で最も高い。

(表 37)

(表 37) 同居の家族以外に頼れる人

(複数回答) (%)

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1 別居の家族・親族	/	/	/	/	/	/	60.9	66.2	/	/	/	/	/	/	/	63.6	60.7
2 友人	/	/	/	/	/	/	17.2	18.5	/	/	/	/	/	/	/	44.6	45.0
3 近所の人	/	/	/	/	/	/	18.5	18.3	/	/	/	/	/	/	/	23.7	24.6
4 その他	/	/	/	/	/	/	3.3	3.7	/	/	/	/	/	/	/	6.4	7.6
5 頼れる人がいない	/	/	/	/	/	/	20.3	16.1	/	/	/	/	/	/	/	10.5	13.0
無回答	/	/	/	/	/	/	-	0.1	/	/	/	/	/	/	/	1.8	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 別居の家族・親族	/	/	/	/	73.7	69.0	/	58.6	59.2
2 友人	/	/	/	/	40.7	45.0	/	34.9	43.4
3 近所の人	/	/	/	/	38.2	42.2	/	26.5	31.2
4 その他	/	/	/	/	2.9	5.0	/	7.5	7.7
5 頼れる人がいない	/	/	/	/	5.4	5.8	/	9.7	10.8
無回答	/	/	/	/	0.4	0.4	/	-	-



ウ 近所の人たちとの付き合い方 (Q30)

「近所の人たちとの具体的な付き合い方」についてみると、日本では「外でちょっと立ち話をする程度」(67.3%)が最も高く、次いで「物をあげたりもらったりする」(41.9%)、「お茶や食事を一緒にする」(24.2%)と続く。

アメリカとスウェーデンでは「外でちょっと立ち話をする程度」(アメリカ 45.9%、スウェーデン 89.7%)が最も高く、特にスウェーデンでは約9割となっている。次いで、アメリカでは「相談ごとがあった時、相談したり、相談されたりする」(28.3%)と「病気の時に助け合う」(27.0%)が続いており、スウェーデンでは「お茶や食事を一緒にする」(35.9%)、「相談ごとがあった時、相談したり、相談されたりする」(31.2%)の順となっている。

一方、ドイツでは「お茶や食事を一緒にする」(50.1%)の割合が最も高く、次いで「相談ごとがあった時、相談したり、相談されたりする」(48.3%)、「外でちょっと立ち話をする程度」(38.7%)が続いている。

前回と比較すると、「お茶や食事を一緒にする」の割合が日本、アメリカおよびスウェーデンで減少しており、ドイツでは増加している。(表 38)

(表 38) 近所の人たちとの付き合い方

○付数字は順位(複数回答)(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 お茶や食事を一緒にする			30.9	32.3	32.0	32.4	③29.3	③24.2			29.1	28.2	32.8	36.4	34.7	24.9
2 趣味をともにする			26.8	24.3	25.4	25.5	20.2	15.6			22.1	18.8	18.1	20.9	19.4	13.5
3 相談ごとがあった時、相談したり、相談されたりする			24.3	26.4	29.2	24.2	22.6	18.6			45.4	46.2	41.3	35.8	②36.9	②28.3
4 家事やちょっとした用事をしたり、してもらったりする			4.6	4.4	6.5	8.2	10.1	5.2			16.6	18.3	16.5	10.4	17.7	15.2
5 病気の時に助け合う			13.9	13.2	9.8	8.7	9.3	5.9			53.4	46.2	38.6	34.3	③36.2	③27.0
6 物をあげたりもらったりする			61.7	63.3	61.2	51.4	②51.6	②41.9			41.1	41.7	32.0	22.1	21.8	18.4
7 外でちょっと立ち話をする程度			48.9	48.7	53.5	66.3	①70.7	①67.3			37.7	40.7	38.6	43.6	①45.8	①45.9
8 その他			2.8	2.8	2.2	2.5	1.2	9.7			16.2	8.2	10.9	2.7	3.4	6.1
無回答			0.3	0.8	0.1	-	0.1	0.6			0.1	0.4	0.7	0.3	1.6	-

  

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 お茶や食事を一緒にする	35.1	32.9	42.1	42.4	②42.0	①50.1	54.1	②44.4	②35.9
2 趣味をともにする	11.8	13.5	18.5	20.9	16.5	16.3	15.3	13.1	9.2
3 相談ごとがあった時、相談したり、相談されたりする	40.5	52.7	54.4	52.4	①49.6	②48.3	27.2	③32.9	③31.2
4 家事やちょっとした用事をしたり、してもらったりする	9.2	9.2	6.5	7.4	8.8	7.3	3.7	4.1	3.2
5 病気の時に助け合う	21.9	28.6	25.5	22.8	28.3	31.9	16.6	16.7	16.9
6 物をあげたりもらったりする	45.2	49.4	18.2	13.7	14.2	14.3	12.3	32.7	24.3
7 外でちょっと立ち話をする程度	47.6	49.5	52.7	35.5	③32.0	③38.7	80.1	①86.4	①89.7
8 その他	7.2	7.6	5.6	4.7	0.9	1.3	2.3	3.2	8.4
無回答	0.1	0.6	-	0.2	0.4	1.2	-	-	-

注1) 第3回～第7回までは、「近所の人たちと話をする」と回答した方に聞いた。

注2) 3の項目は、第4回は「相談ごとがあった時、相談をする」。

4の項目は、第4回は「家事を助け合う」。

エ 親しい友人の有無 (Q31)

「家族以外に相談あるいは世話をし合う親しい友人がいるか」についてみると、友人の性別にかかわらず「友人がいる」の割合は、スウェーデンで 90.5%と最も高く、次いで、アメリカ (84.7%)、ドイツ (82.2%) となっており、日本が 73.1%で最も低い。

友人の性別をみると、日本では「同性の友人」(57.5%)の割合が最も高いが、ドイツ及びスウェーデンでは「同性と異性の友人がいる」(ドイツ 47.6%、スウェーデン 59.2%)が最も高くなっている。一方、アメリカでは「同性と異性の友人がいる」(41.8%)と「同性の友人」(39.8%)が同程度である。

友人は「いずれもない」の割合をみると、日本 (25.9%)は、欧米3か国 (アメリカ 11.9%、ドイツ 17.1%、スウェーデン 8.9%)に比べて高くなっている。(表 39)

(表 39) 親しい友人の有無

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
友人がいる	68.2	66.3	70.5	69.0	75.2	70.1	73.7	73.1	90.6	93.3	91.7	90.1	87.1	84.6	84.3	84.7
1 同性の友人がいる	57.3	54.1	60.0	57.9	56.3	50.4	53.2	57.5	32.2	24.9	27.4	31.0	33.2	41.8	43.4	39.8
2 異性の友人がいる	0.9	1.4	1.5	1.6	1.0	1.2	1.0	1.9	1.1	1.4	1.6	2.2	2.7	2.7	3.6	3.2
3 同性と異性の友人がいる	10.0	10.8	9.0	9.5	17.9	18.5	19.5	13.8	57.3	67.0	62.7	56.9	51.2	40.1	37.3	41.8
4 いずれもない	29.0	33.4	28.7	30.5	24.8	29.9	26.2	25.9	8.9	6.6	7.9	9.4	11.5	15.2	15.7	11.9
5 わからない								1.0								3.4
無回答	2.8	0.3	0.9	0.5	-	-	0.1	-	0.5	0.1	0.4	0.5	1.4	0.2	-	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
友人がいる	85.4	88.0	83.0	77.8	80.0	82.2	92.2	88.7	90.5
1 同性の友人がいる	25.7	28.6	26.5	29.3	32.6	32.2	26.4	28.4	28.1
2 異性の友人がいる	0.7	0.6	1.2	2.8	2.4	2.4	2.5	2.7	3.2
3 同性と異性の友人がいる	59.0	58.8	55.3	45.7	45.0	47.6	63.3	57.6	59.2
4 いずれもない	13.8	11.9	17.0	22.0	17.7	17.1	7.8	11.4	8.9
5 わからない						0.7			0.6
無回答	0.9	0.1	-	0.1	2.3	-	-	-	-

注) 5の項目は、第8回より追加。

オ ボランティア活動への参加状況（Q32）

「現在、福祉や環境を改善するなどを目的としたボランティアやその他の社会活動に参加しているか」についてみると、「全く参加したことがない」の割合は、日本（47.6%）が最も高く、次いで、ドイツ（44.2%）、アメリカ（23.5%）、スウェーデン（22.4%）の順となっている。

具体的な活動についてみると、日本では「地域行事、まちづくり活動」（15.0%）と「近隣の公園や通りなどの清掃等の美化活動」（14.8%）が同程度の割合である。

アメリカでは「宗教・政治活動」（32.5%）の割合が他の国に比べて高い。（表 40）

（表 40） ボランティア活動への参加状況

○付数字は順位（複数回答）（%）

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1 近隣の公園や通りなどの清掃等の美化活動						12.8	①14.2	②14.8							3.9	7.0	7.1
2 地域行事、まちづくり活動						12.8	②13.3	①15.0							13.0	③12.5	②18.6
3 環境保全・自然保護活動						3.9	2.9	3.0							5.1	5.5	5.3
4 交通安全や防犯・防災に関する活動						4.3	③5.9	4.8							1.8	3.4	2.5
5 子供や青少年の健全育成に関する活動						3.0	3.7	4.3							5.7	5.7	8.8
6 趣味やスポーツ、学習活動などの指導						5.8	5.3	4.6							7.3	9.0	4.9
7 高齢者や障害者の話し相手や身の回りの世話						4.4	4.0	3.8							5.9	9.7	7.1
8 医療機関や福祉施設等での手伝い・支援活動						2.4	1.9	1.3							3.7	3.6	3.2
9 国際交流・国際支援活動						1.1	1.0	0.5							1.1	1.3	1.0
10 消費者活動						0.5	0.3	0.3							1.2	2.1	2.1
11 宗教・政治活動						2.7	3.0	2.3							28.7	①28.7	①32.5
12 自分の趣味や技能などを活かした支援活動						5.7	5.4	③5.0							11.5	②14.2	14.6
13 その他						2.4	0.8	1.8							2.6	4.0	8.8
14 以前には参加していたが、今は参加していない						15.9	17.0	19.1							21.5	17.8	③17.6
15 全く参加したことがない						53.4	51.7	47.6							32.3	33.1	23.5
無回答						-	-	-							-	2.0	0.2

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 近隣の公園や通りなどの清掃等の美化活動				2.8	4.4	3.2		10.3	9.1
2 地域行事、まちづくり活動				4.3	5.7	③5.2		①16.4	①14.6
3 環境保全・自然保護活動				5.9	③6.0	4.0		8.5	8.1
4 交通安全や防犯・防災に関する活動				1.0	0.9	1.1		4.5	3.2
5 子供や青少年の健全育成に関する活動				2.2	3.1	3.2		3.0	5.2
6 趣味やスポーツ、学習活動などの指導				4.8	4.8	3.8		8.1	11.2
7 高齢者や障害者の話し相手や身の回りの世話				4.4	③6.0	3.9		③11.1	②13.2
8 医療機関や福祉施設等での手伝い・支援活動				1.8	1.7	2.1		3.4	4.5
9 国際交流・国際支援活動				1.5	1.7	1.8		6.5	8.8
10 消費者活動				0.9	0.5	1.1		0.8	0.4
11 宗教・政治活動				10.8	①10.7	②10.2		②12.6	12.1
12 自分の趣味や技能などを活かした支援活動				10.5	②9.8	①11.4		9.2	③13.0
13 その他				4.5	2.5	3.3		11.2	11.1
14 以前には参加していたが、今は参加していない				20.8	19.8	24.4		17.7	19.4
15 全く参加したことがない				46.2	42.9	44.2		28.3	22.4
無回答				0.1	3.1	0.7		-	-

カ ボランティア活動に参加しない理由 (Q33)

ボランティア活動に参加したことのない人、以前は参加していたが現在は参加していない人が「現在参加していない理由」についてみると、アメリカとドイツでは「関心がない」(アメリカ 31.5%、ドイツ 36.7%)の割合が、日本 (14.0%) とスウェーデン (16.5%) に比べて高くなっている。

現在参加していない理由として、日本では「時間的・精神的ゆとりがない」(28.6%)と「健康上の理由、体力に自信がない」(27.5%)が3割程度となっている。

アメリカ、ドイツ及びスウェーデンでは「他にやりたいことがある」(アメリカ 25.2%、ドイツ 21.2%、スウェーデン 27.8%)の割合が、日本 (10.6%) に比べて高い。(表 41)

(表 41) ボランティア活動に参加しない理由

(ボランティア活動に参加したことがない、以前は参加していたが現在は参加していない方に) (複数回答) (%)

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1 関心がない						18.3	15.9	14.0							39.2	45.8	31.5
2 やりたい活動が見つからない						11.1	10.3	9.2							11.5	16.1	15.7
3 近くに適当な場が見つからない						7.7	6.8	7.6							5.2	4.3	2.7
4 一緒にやる仲間が見つからない						4.3	3.9	4.7							3.3	2.4	5.8
5 家族や周囲の理解が得にくい						0.5	0.6	0.1							1.1	1.0	1.2
6 家族の介護をしている						3.4	3.6	4.7							3.5	2.8	1.5
7 これまでのキャリアにふさわしくない						0.5	0.2	0.7							0.6	0.2	1.0
8 他にやりたいことがある						8.0	10.3	10.6							19.0	16.1	25.2
9 時間的・精神的ゆとりがない						22.4	32.2	28.6							17.1	22.6	17.9
10 健康上の理由、体力に自信がない						33.9	31.5	27.5							23.0	22.8	20.3
11 団体内での人間関係がわずらわしい						2.7	3.9	6.2							0.4	2.6	1.9
12 経済的余裕がない						2.1	2.1	3.0							2.4	4.7	4.6
13 その他						8.7	3.8	12.3							1.5	2.6	10.2
無回答						1.0	0.9	0.1							0.4	5.1	1.0

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 関心がない				41.0	37.3	36.7		28.0	16.5
2 やりたい活動が見つからない				13.1	14.1	14.7		17.5	9.6
3 近くに適当な場が見つからない				13.1	8.9	10.4		3.5	3.6
4 一緒にやる仲間が見つからない				4.2	2.7	4.5		2.9	3.6
5 家族や周囲の理解が得にくい				1.5	1.3	0.3		0.4	-
6 家族の介護をしている				11.7	7.9	10.4		9.7	17.0
7 これまでのキャリアにふさわしくない				-	-	0.1		-	-
8 他にやりたいことがある				17.5	19.5	21.2		27.8	27.8
9 時間的・精神的ゆとりがない				9.9	14.3	12.7		19.6	22.2
10 健康上の理由、体力に自信がない				22.3	26.2	24.1		16.7	22.0
11 団体内での人間関係がわずらわしい				1.9	2.7	3.3		3.3	1.2
12 経済的余裕がない				4.4	4.6	5.1		1.6	1.2
13 その他				6.6	1.3	5.9		4.5	12.0
無回答				0.9	3.3	3.3		-	-

キ 情報機器の利用状況 (Q34)

「情報機器を使って、家族や友人と連絡をとったり、情報を探したりしているか」についてみると、「いずれも使わない」の割合は、ドイツで 31.1%と最も高く、次いで、日本 (23.3%)、アメリカ (7.2%)、スウェーデン (5.3%) の順となっている。

具体的な利用状況をみると、各国とも「携帯電話で家族・友人などと連絡をとる」(日本 72.3%、アメリカ 87.2%、ドイツ 63.4%、スウェーデン 89.8%) の割合が最も高い。

アメリカとスウェーデンでは「パソコンの電子メールで家族・友人などと連絡をとる」(アメリカ 38.2%、スウェーデン 57.0%) や「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」(アメリカ 35.1%、スウェーデン 55.1%) などのパソコンを利用した通信手段の割合が高くなっている。一方、日本では他の国と比べて「ファックスで家族・友人などと連絡をとる」(11.0%) の割合が高い。

時系列でみると、各国とも情報機器を利用する割合は継続的に上昇している。第6回調査からの推移をみると、「携帯電話で家族・友人などと連絡をとる」(日本 28.0%→58.6%→72.3%、アメリカ 47.2%→72.2%→87.2%、ドイツ 39.8%→50.5%→63.4%、スウェーデン 38.9%→77.7%→89.8%) の割合の増加が顕著である。(表 42)

(表 42) 情報機器の利用状況

(複数回答) (%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 ファックスで家族・友人などと連絡をとる					9.8	11.6	14.7	11.0					5.9	4.9	4.5	2.1
2 パソコンの電子メールで家族・友人などと連絡をとる					2.6	8.3	15.3	17.9					19.6	32.4	44.3	38.2
3 インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする					2.5	7.5	15.6	16.5					12.6	19.3	32.4	35.1
4 携帯電話で家族・友人などと連絡をとる (携帯電話のメールを含む)					13.4	28.0	58.6	72.3					21.7	47.2	72.2	87.2
5 携帯電話で情報を集めたり、ショッピングをする					0.7	1.0	4.5	6.5					2.8	4.8	10.3	20.2
6 いずれも使わない					78.9	64.7	35.6	23.3					65.3	43.6	20.7	7.2
無回答					0.2	0.1	-	-					1.3	0.6	0.2	0.3

	ド イ ツ					スウェーデン			
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 ファックスで家族・友人などと連絡をとる			4.9	6.3	4.4	1.7	5.3	1.7	0.6
2 パソコンの電子メールで家族・友人などと連絡をとる			4.9	10.9	22.8	27.6	11.8	49.9	57.0
3 インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする			2.9	7.3	13.8	19.0	8.2	45.4	55.1
4 携帯電話で家族・友人などと連絡をとる (携帯電話のメールを含む)			16.9	39.8	50.5	63.4	38.9	77.7	89.8
5 携帯電話で情報を集めたり、ショッピングをする			1.9	2.0	2.2	2.8	2.8	6.5	25.7
6 いずれも使わない			77.6	55.0	41.3	31.1	55.1	13.7	5.3
無回答			0.4	0.7	0.8	0.3	-	-	-

注) 第5回と第6回の選択肢は以下の通り

1. ファックスで家族・友人などと連絡をとる
2. コンピュータの電子メールで家族・友人などと連絡をとる
3. インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする
4. 携帯電話やPHSで家族・友人などと連絡をとる
5. 携帯電話やPHSで情報を集めたり、ショッピングをする
6. いずれも使わない

ク 情報機器を利用しない理由 (Q35)

情報機器を利用していない高齢者が「情報機器を使わない理由」についてみると、各国とも「必要性を感じないから」(日本 70.4%、アメリカ 58.3%、ドイツ 71.2%、スウェーデン 41.5%) の割合が最も高くなっている。次いで、いずれの国でも「使い方が分からないので、面倒だから」(日本 26.8%、アメリカ 25.0%、ドイツ 26.8%、スウェーデン 18.9%) の割合が高くなっている。

前回と比較すると、アメリカとスウェーデンでは「必要性を感じないから」の割合がそれぞれ約 22 ポイント、約 16 ポイント減少している。(表 43)

(表 43) 情報機器を利用しない理由

(情報機器をお使いにならない方に) (複数回答) (%)

	日 本								ア メ リ カ								
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	
1 必要性を感じないから					78.0	81.3	74.6	70.4						85.9	85.3	80.7	58.3
2 使い方が分からないので、面倒だから					35.7	28.4	26.8	26.8						17.6	12.6	31.4	25.0
3 興味はあるが購入場所、購入方法などがわからないから					1.1	0.7	0.7	0.4						1.1	-	-	4.2
4 使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいないから					5.0	1.7	2.1	2.7						2.8	2.5	4.3	5.6
5 お金がかかるから					13.7	4.0	8.3	8.2						18.2	11.0	25.1	12.5
6 文字が見にくいから					8.6	4.0	5.5	6.6						2.8	2.8	6.8	1.4
7 その他					3.1	5.0	4.3	6.6						2.8	0.5	3.9	23.6
無回答					0.3	-	0.7	-						2.4	0.5	2.9	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 5 回	第 7 回	第 8 回
1 必要性を感じないから			79.3	84.5	73.7	71.2	81.3	57.6	41.5
2 使い方が分からないので、面倒だから			21.4	27.7	27.7	26.8	21.6	19.4	18.9
3 興味はあるが購入場所、購入方法などがわからないから			0.7	-	0.2	0.3	0.5	0.7	-
4 使い方を覚えたいが、教えてくれる人がいないから			3.0	2.8	2.2	5.1	0.9	1.4	1.9
5 お金がかかるから			21.7	21.8	12.0	8.9	18.7	4.2	1.9
6 文字が見にくいから			4.3	7.6	9.2	9.6	3.4	6.3	7.5
7 その他			7.1	9.9	12.3	15.7	1.4	20.8	39.6
無回答			1.7	0.4	2.2	1.3	0.5	-	-

(8) 不安・関心・満足度

ア 悩みやストレスの有無 (Q36)

「現在、日常生活で悩みやストレスがあるか」についてみると、ドイツでは「大いにある」(13.4%)の割合が1割を超えているのに対して、日本(7.1%)、アメリカ(9.2%)、スウェーデン(6.5%)では1割未満となっている。

「まったくない」の割合は、スウェーデンが57.0%と最も高く、次いでアメリカ(47.4%)、日本(39.4%)の順となっている。スウェーデンでは悩みやストレスを感じる高齢者が少ないことがうかがえるが、時系列でみるとその割合は減少傾向にある。(表44)

(表44) 悩みやストレスの有無

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 大いにある					7.7	5.7	6.3	7.1					5.0	7.0	10.9	9.2
2 少しはある					52.7	39.0	45.2	53.5					43.0	45.7	45.6	43.3
3 まったくない					39.6	55.2	48.4	39.4					50.5	47.2	43.5	47.4
無回答					0.1	0.1	-	-					1.5	0.1	-	0.2

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 大いにある			4.4	13.7	11.3	13.4	2.6	4.7	6.5
2 少しはある			30.4	59.4	59.4	58.8	26.2	30.6	36.5
3 まったくない			65.2	26.8	28.9	27.8	71.2	64.7	57.0
無回答			-	0.1	0.5	-	-	-	-

イ 生きがいを感じる時 (Q37)

「生きがい（生きていくことの喜びや楽しみを実感すること）を感じるのはどのような時か」についてみると、各国とも「子供や孫など家族との団らんの時」（日本 46.9%、アメリカ 68.7%、ドイツ 69.4%、スウェーデン 79.2%）の割合が最も高いが、日本は4か国中で最も低い。

次いで、日本では「趣味に熱中している時」（42.7%）が続き、欧米3か国では「友人や知人と食事、雑談している時」（アメリカ 58.5%、ドイツ 56.3%、スウェーデン 70.4%）の割合が2番目に高くなっている。（表 45）

（表 45）生きがいを感じる時

○付数字は順位（複数回答）（%）

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1 仕事にうちこんでいる時						16.9	21.0	19.5							29.6	28.5	29.9
2 勉強や教養などに身をいれている時						8.9	9.0	8.9							9.4	14.3	13.8
3 趣味に熱中している時						38.1	②39.4	②42.7							42.9	45.4	43.0
4 スポーツに熱中している時						8.2	13.5	15.5							9.1	12.4	10.6
5 夫婦団らんの時						25.5	29.3	25.9							39.1	37.9	38.0
6 子供や孫など家族との団らんの時						48.2	①48.4	①46.9							71.2	①74.2	①68.7
7 友人や知人と食事、雑談している時						32.9	③35.7	38.5							59.1	②63.4	②58.5
8 テレビを見たり、ラジオを聞いている時						33.4	37.5	38.6							42.0	46.1	44.6
9 社会奉仕や地域活動をしている時						9.0	7.9	8.6							25.3	31.3	28.8
10 旅行に行っている時						33.3	34.7	36.1							41.9	48.5	44.5
11 他人から感謝された時						13.9	15.4	14.3							41.5	③57.7	45.3
12 収入があった時						7.7	9.2	11.0							21.3	26.0	26.9
13 おいしい物を食べている時						29.8	34.3	③41.3							42.6	49.0	③52.2
14 若い世代と交流している時						8.8	8.7	9.5							28.6	40.1	38.4
15 おしゃれをする時						10.3	13.2	13.0							25.7	31.1	26.4
16 犬や猫などのペットと過ごす時						9.4	10.4	10.0							23.8	29.2	30.2
17 その他						5.3	3.0	3.4							2.3	5.5	5.7
18 わからない						2.9	2.6	2.5							1.6	2.1	3.5
無回答						0.4	-	-							-	-	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 仕事にうちこんでいる時				16.0	17.3	17.6		26.0	29.5
2 勉強や教養などに身をいれている時				10.4	11.4	10.3		6.6	6.7
3 趣味に熱中している時				46.5	46.4	47.1		44.1	46.6
4 スポーツに熱中している時				16.1	16.5	18.1		22.3	28.8
5 夫婦団らんの時				38.4	41.6	40.3		③60.5	50.9
6 子供や孫など家族との団らんの時				62.7	①65.3	①69.4		①78.7	①79.2
7 友人や知人と食事、雑談している時				51.7	②54.2	②56.3		②66.9	②70.4
8 テレビを見たり、ラジオを聞いている時				39.7	36.6	39.0		40.5	46.3
9 社会奉仕や地域活動をしている時				15.3	14.7	16.9		31.8	38.7
10 旅行に行っている時				47.2	③49.9	54.0		51.7	54.6
11 他人から感謝された時				39.9	40.4	44.3		54.4	③57.0
12 収入があった時				14.4	14.2	21.4		19.0	21.7
13 おいしい物を食べている時				40.9	42.0	③54.7		54.8	53.8
14 若い世代と交流している時				16.7	17.7	22.1		38.7	42.8
15 おしゃれをする時				21.1	22.0	23.7		26.1	25.5
16 犬や猫などのペットと過ごす時				17.0	17.7	15.6		21.4	21.3
17 その他				5.1	1.9	2.0		6.0	5.9
18 わからない				1.3	1.2	0.5		0.9	0.6
無回答				-	-	-		-	-



ウ 生活の総合満足度 (Q38)

「現在の生活に満足しているか」についてみると、日本では「満足している」の割合は30.7%と、欧米3か国（アメリカ 71.1%、ドイツ 50.6%、スウェーデン 61.0%）に比べて20ポイント以上低くなっている。しかしながら、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合は、各国とも9割前後で、ほとんどの高齢者が満足感を感じている。

前回と比較すると、日本、ドイツ及びスウェーデンでは「満足している」の割合が減少している。(表46)

(表46) 生活の総合満足度

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 満足している				29.8	22.3	34.6	36.3	30.7				47.8	70.3	73.9	71.4	71.1
2 まあ満足している				57.5	62.9	56.7	56.4	57.6				41.5	24.6	21.8	23.3	24.1
3 やや不満である				11.0	12.2	7.5	6.1	8.4				8.0	2.9	3.0	4.3	2.7
4 不満である				1.5	2.6	1.2	1.2	3.3				1.5	0.9	1.3	1.0	1.2
無回答				0.3	0.1	0.1	-	0.1				1.2	1.4	-	-	0.9

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 満足している		52.2	33.3	58.7	61.1	50.6	59.5	69.9	61.0
2 まあ満足している		35.5	59.1	34.2	34.0	41.3	39.0	29.3	36.1
3 やや不満である		9.6	6.8	6.3	4.2	6.3	1.1	0.6	2.4
4 不満である		1.8	0.9	0.7	0.5	1.7	0.4	0.2	0.5
無回答		0.9	-	0.2	0.3	0.2	-	-	-

(9) 政策に対する態度

ア 若い世代と高齢者のどちらを重視するか (Q39)

「今後、政府の政策全般において、高齢者や若い世代に対する対応をどのようにしていくべきだと考えるか」についてみると、各国とも「高齢者をもっと重視すべき」(日本 40.3%、アメリカ 49.6%、ドイツ 47.5%、スウェーデン 57.6%) が最も高い割合となっている。

ドイツでは「現状のままでよい」の割合が 34.1%と、調査実施国中最も高くなっている。

「若い世代をもっと重視すべき」の割合は、日本が 37.5%と最も高く、次いで、スウェーデン (20.4%)、アメリカ (16.8%) となっており、ドイツが 14.1%で最も低くなっている。

前回と比較すると、日本とアメリカでは「若い世代をもっと重視すべき」の割合が、そしてスウェーデンでは「高齢者をもっと重視すべき」の割合がそれぞれ増加している。一方、ドイツでは「現状のままでよい」が増加傾向にある。(表 47)

(表 47) 若い世代と高齢者のどちらを重視するか

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回
1 高齢者をもっと重視すべき	/	/	/	/	/	40.7	49.0	40.3	/	/	/	/	/	63.8	62.2	49.6
2 現状のままでよい	/	/	/	/	/	20.1	14.5	16.7	/	/	/	/	/	15.0	17.1	19.9
3 若い世代をもっと重視すべき	/	/	/	/	/	26.1	28.4	37.5	/	/	/	/	/	9.6	7.8	16.8
4 わからない	/	/	/	/	/	12.8	8.1	5.5	/	/	/	/	/	11.6	12.9	13.7
無回答	/	/	/	/	/	0.2	-	-	/	/	/	/	/	-	-	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 5 回	第 7 回	第 8 回
1 高齢者をもっと重視すべき	/	/	/	51.1	50.2	47.5	/	48.7	57.6
2 現状のままでよい	/	/	/	18.7	26.2	34.1	/	18.8	14.7
3 若い世代をもっと重視すべき	/	/	/	18.9	16.7	14.1	/	23.8	20.4
4 わからない	/	/	/	11.0	6.9	4.3	/	8.7	7.3
無回答	/	/	/	0.3	-	-	/	-	-

イ 高齢者に対する重要な政策や支援（Q40）

「高齢者に対する政策や支援で大切だと思うもの」についてみると、各国とも「公的な年金制度」（日本 56.0%、アメリカ 79.9%、ドイツ 65.0%、スウェーデン 71.5%）の割合が最も高くなっている。

また、2位以下をみると、日本では「介護や福祉サービス」（54.7%）と「医療サービス」（51.9%）が半数を超えているが、欧米3か国では「医療サービス」（アメリカ 79.1%、ドイツ 42.0%、スウェーデン 70.0%）と「介護や福祉サービス」（アメリカ 66.5%、ドイツ 51.2%、スウェーデン 70.5%）の割合が高い。（表 48）

（表 48）高齢者に対する重要な政策や支援

○付数字は順位（複数回答）（%）

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1 働く場の確保					30.6	24.5	24.3	22.6						33.3	60.9	66.4	59.1
2 公的な年金制度					67.8	52.4	③57.6	①56.0						76.2	78.3	①80.2	①79.9
3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）の支援					23.1	11.3	13.3	12.8						24.5	57.0	③68.6	60.9
4 医療サービス					57.3	52.7	②59.5	③51.9						62.8	80.3	②76.0	②79.1
5 介護や福祉サービス					54.1	48.8	①60.9	②54.7						32.7	67.3	68.0	③66.5
6 ボランティア活動のための場の確保					15.7	10.8	10.5	8.9						9.2	41.7	54.7	50.8
7 学習のための場の確保						7.5	8.5	8.4							36.0	48.6	47.8
8 高齢者向けの住宅					23.5	12.8	21.2	18.8						19.2	56.9	61.6	65.2
9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）					33.2	18.6	25.5	25.2						12.0	45.1	57.9	53.4
10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）					23.1	21.4	16.9	17.9						14.0	37.0	54.4	51.3
11 高齢者の人権について、一般市民の理解の促進					18.4	10.8	15.0	13.7						10.5	42.4	58.1	54.5
12 その他					2.2	2.4	1.7	5.1						1.8	1.0	3.1	4.3
無回答					2.5	2.1	1.2	0.4						1.9	0.4	6.0	0.9

	ド イ ツ					スウェーデン			
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 働く場の確保			24.5	27.3	29.0	23.3	11.8	42.1	46.6
2 公的な年金制度			87.0	72.9	①65.4	①65.0	85.6	①76.8	①71.5
3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）の支援			25.1	41.3	38.8	32.0	24.5	37.0	36.7
4 医療サービス			52.6	44.6	③45.6	③42.0	63.7	③69.7	③70.0
5 介護や福祉サービス			55.9	44.2	②49.1	②51.2	59.9	②72.6	②70.5
6 ボランティア活動のための場の確保			21.1	19.2	22.5	20.6	33.3	45.4	43.0
7 学習のための場の確保				10.6	14.0	14.5		26.8	25.5
8 高齢者向けの住宅			38.7	26.4	29.9	34.5	37.5	66.8	62.7
9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）			31.2	30.2	36.5	32.3	43.9	39.4	44.4
10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）			41.5	31.4	32.6	31.3	44.5	49.0	55.0
11 高齢者の人権について、一般市民の理解の促進			35.5	31.9	33.2	28.8	31.4	41.4	41.0
12 その他			1.3	3.2	0.8	1.9	1.1	3.0	5.0
無回答			0.1	2.3	12.4	10.6	-	-	-

注) 第5回までは以下の文言で聞いた。

- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 働く場所を確保する                      | 6 ボランティア活動や学習のための場を確保する          |
| 2 公的な年金制度を充実させる                  | 7 (第6回からの設問)                     |
| 3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）を充実させる | 8 高齢者向けの住宅を整備し、充実させる             |
| 4 医療サービスを整備し、充実させる               | 9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）を目指す  |
| 5 介護や福祉サービスを整備し、充実させる            | 10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）の対策を行う |
|                                  | 11 高齢者の人権について、一般市民に理解してもらう       |

ウ 社会保障制度の負担のあり方 (Q41)

「社会保障制度の水準や負担のあり方」についてみると、日本では「たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき」の割合が 36.7%で最も高い割合となっている。一方、欧米3か国では「たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき」(アメリカ 44.2%、ドイツ 46.8%、スウェーデン 51.7%) の割合が最も高くなっている。

前回と比較すると、ドイツでは「たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき」が増加している。(表 49)

(表 49) 社会保障制度の負担のあり方

(%)

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき						18.9	29.2	28.4							43.2	40.2	44.2
2  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき						37.4	38.8	36.7							31.8	29.1	32.7
3  できるだけ、今後、税や保険料の負担を増やさないようにするためには社会保障制度の現在の水準が下がってもやむを得ない						21.3	17.5	19.5							8.8	15.4	9.5
4  わからない						21.7	14.5	15.5							15.8	15.3	13.7
無回答						0.7	-	-							0.4	-	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき				35.4	36.6	46.8		48.9	51.7
2  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき				30.0	33.8	33.9		37.9	36.4
3  できるだけ、今後、税や保険料の負担を増やさないようにするためには社会保障制度の現在の水準が下がってもやむを得ない				17.8	19.1	10.6		5.1	6.4
4  わからない				16.1	10.6	8.6		8.2	5.5
無回答				0.7	-	-		-	-

エ 老後の生活費に対する考え方 (Q42)

「老後の生活費について、どのようにまかなわれるべきだと思うか」についてみると、日本とアメリカでは「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」(日本 45.7%、アメリカ 43.6%)と「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」(日本 44.9%、アメリカ 42.3%)が同程度の割合である。

一方、ドイツとスウェーデンでは「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」(ドイツ 50.3%、スウェーデン 75.3%)の割合が、「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」(ドイツ 35.0%、スウェーデン 19.0%)に比べて高く、特にスウェーデンでは4人に3人を占める。

前回と比較すると、スウェーデンでは「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」の割合が10ポイント以上増加し、一方、「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」の割合が9ポイント程減少している。(表50)

(表50) 老後の生活費に対する考え方

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである	55.0	52.4	44.0	46.6	42.6	47.6	47.8	45.7	60.7	65.2	59.1	62.1	50.8	48.4	42.4	43.6
2 老後の生活費は、家族が面倒をみるべきである	18.8	15.0	16.0	12.8	7.9	6.9	7.2	6.0	0.6	0.7	0.6	0.8	4.9	4.2	7.1	5.9
3 老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである	21.8	30.2	37.5	37.7	46.3	43.6	42.9	44.9	29.1	25.3	26.5	25.7	37.8	44.1	43.8	42.3
4 その他	2.5	2.2	1.3	2.3	2.6	1.4	1.5	3.4	6.0	6.0	9.1	5.8	1.3	2.9	5.6	7.8
無回答	1.9	0.3	1.1	0.6	0.6	0.5	0.7	-	3.6	2.8	4.7	5.6	5.2	0.4	1.1	0.5

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである	45.2	32.2	39.6	34.9	35.7	35.0	37.6	27.8	19.0
2 老後の生活費は、家族が面倒をみるべきである	6.0	3.8	1.7	5.7	6.2	7.3	1.8	1.7	0.8
3 老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである	45.6	59.3	57.2	55.8	52.7	50.3	57.3	61.8	75.3
4 その他	3.0	4.3	1.5	3.2	1.2	4.5	3.3	8.7	4.9
無回答	0.2	0.4	-	0.4	4.3	2.9	-	-	-